

● 内政

1 ルング前大統領、逝去

ザンビア第六代大統領であるエドガー・ルング前大統領は、6月5日、南アフリカの病院で逝去した。逝去後、ザンビア国内に埋葬すべきとするザンビア政府と南アフリカへ埋葬するとする遺族が対立し、公式な葬儀は実施されぬまま、遺体の埋葬先は決定していない。（6月5日付 大統領府 Facebook ほか関連報道まとめ）

2 大統領、エネルギー省事務次官を解雇

ヒチレマ大統領は、2023年10月に任命したエネルギー省事務次官を解雇した。また、9日にはパイプライン運営会社の社長も解雇した。理由は明示されていないものの、エネルギー省及びパイプライン運営会社に関しては予てよりエネルギー価格高騰の責任問題や汚職疑惑があり、政権が刷新を図っていると見受けられる。（6月7日及び9日付 News Diggers）

3 政府、5月の政府支出を説明

財務・国家計画省は、2025年5月に158億クワチャ（約1000億円）の政府支出を実施したと表明した。そのうち28億クワチャが国内債務の返済、26億クワチャが対外債務の返済、0.1億クワチャが過去の債務に関する延滞金として支払われた。（6月16日付 News Diggers）

4 大統領、憲法改正プロセスの一時停止を指示

ヒチレマ大統領は、3月以降進めていた憲法改正のプロセスについて市民社会関係者や宗教関係者などから懸念が表され続けていることを受け、改正プロセスを一時停止し、適切なプロセスを取るよう法相に指示した。（6月24日付 大統領府 Facebook）

5 財相、補正予算案を議会へ提出

財務・国家計画相は、総額336億クワチャ（約2100億円）の補正予算案を国民議会へ提出した。燃料債務の関連で110億クワチャが計上されるとともに、各種インフラ整備などについて国内借入やドナーからの寄付を元手として、補正予算案が作成された。（6月27日付 News Diggers）

● 外交・対外関係

1 ザンビア政府、C10 外相会合を主催

6月3日から4日にかけて、ザンビア政府はC10（10か国委員会）外相会合を主催した。委員会の中では国連安保理改革に関連する議論が実施された。（関連報道まとめ）

2 財務・国家計画相、EU グローバルゲートウェイに関するハイレベル会合へ出席

6月20日、ムソコトワネ財務・国家計画相は、イタリア・ローマで開催された EU グローバルゲートウェイに関するハイレベル会合へ参加した。同会合はイタリア・メローニ首相およびフォンデアライエン欧州委員会委員長が共同議長を務め、アンゴラ、コンゴ民主共和国、ザンビア、タンザニアの要人が参加し、ロビト回廊プロジェクトに焦点を当てた議論が実施された。会合の-marginでは、世界銀行総裁、IMF 専務理事、アフリカ金融公社総裁との会談も実施された。（6月21日付 外務・国際協力省 Facebook）

3 大統領、南アフリカ外相と会談

6月23日、ヒチレマ大統領は、当地を訪問中の南アフリカ・ラモラ外相と会談した。ルング前大統領が逝去して以降の南アフリカ政府の支援に謝意が述べられるとともに、ザンビア政府と遺族の対立によって生じた葬儀に関する混乱について、巻き添えとなっている南アフリカ政府に謝罪の意が表された。（6月23日付 News Diggers）

（了）